


ナイトプログラム「キャンプファイヤー」



対象	団体	人数	15～150名程度 (使用する広場によって異なります)													
所要時間	【薪組み・事前説明】：20分程度 【終了時間】20時30分(片付け含む)	天候	晴天時のみ実施可 (雨天時・強風時などは実施不可)													
概要	足柄ふれあいの村でキャンプファイヤーを行って頂く場合には、事前の準備(薪組み)から後片付け(終了時の火の始末、翌朝の後片付け・清掃)までを含めての活動となります。また、足柄ふれあいの村の広場は周囲を建物や森が囲んでいるため、背丈を超えるような大きな火を囲んでのキャンプファイヤーはできません。															
料金	キャンプファイヤーAセット	5,800円	燃烧目安 1～1.5時間													
	Bセット	6,600円	燃烧目安 1.5～2時間													
	トーチ棒	400円/1本														
活動場所	金太郎広場・杉の子広場・そよかぜ広場 ※こもれび広場では実施できません															
用具	<p>団体での持参品</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 軍手(野外炊事用と共用でも可。綿100%のものが望ましい) <input type="checkbox"/> 皮手袋 <input type="checkbox"/> 新聞紙(1日分程度) <input type="checkbox"/> マッチ・ライター・チャッカマン等の点火道具 <input type="checkbox"/> レクリエーション用品(必要に応じて) <p>ふれあいの村での準備品</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 購入 キャンプファイヤーセット(持ち込みの薪や廃材の使用、燃料の持ち込みは不可) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>ファイヤー薪(井桁用)</th> <th>バタ薪</th> <th>灯油</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Aセット</td> <td>10本 2本1組で5段分</td> <td>2束</td> <td>0.5リットル</td> </tr> <tr> <td>Bセット</td> <td>12本 2本1組で6段分</td> <td>3束</td> <td>0.5リットル</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 購入 トーチ棒(点火用のたいまつ：ご持参いただいてもかまいません) <input type="checkbox"/> 掃除用具：野外炊事場のもの(ホウキ・チリトリ・火バサミ・ドラム缶) <input type="checkbox"/> 貸出可能：アンプ、マイク、ラジカセ、キーボード、アコーディオン、フォークギター等 					ファイヤー薪(井桁用)	バタ薪	灯油	Aセット	10本 2本1組で5段分	2束	0.5リットル	Bセット	12本 2本1組で6段分	3束	0.5リットル
	ファイヤー薪(井桁用)	バタ薪	灯油													
Aセット	10本 2本1組で5段分	2束	0.5リットル													
Bセット	12本 2本1組で6段分	3束	0.5リットル													
当日までの準備	<p>プログラム実施に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 活動場所の手配と代替プログラムの用意 <ul style="list-style-type: none"> ・活動施設は確保できていますか？ ・雨天等の代替プログラムの用意とその活動場所の確保はできていますか？ <input type="checkbox"/> 準備品の申込み <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプファイヤーセット、トーチ棒(購入の場合のみ)の申込みはできていますか？ ・持参品の用意はできていますか？ <input type="checkbox"/> 引率者間でのプログラム運営方法の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・引率者間の役割分担は決まっていますか？(薪組み/物品受取り/火の処理/片付け) ・プログラムの進行内容と方法は決まっていますか？ 															

ナイトプログラム「キャンプファイヤー」

	進 行	備 考
<p>当日の流れ</p>	<p>①実施準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 入村時の打ち合わせ時に薪組み指導の有無について確認 <input type="checkbox"/> 団体での持参品の準備 <p>②薪組み指導・注意事項及び片付けについての説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ファイヤー薪の運搬（薪倉庫より団体側で運ぶ） <input type="checkbox"/> 薪組み指導（必要な場合のみ） <ul style="list-style-type: none"> ・ファイヤー薪の組み方の説明 ・当日の火の処理、翌朝の後片付けについての説明 <p>③物品受け取り</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ふれあいの村管理棟事務所にて灯油とトーチ棒（注文している場合）を受け取る <p>④プログラム開始</p> <p>※晴天の場合でも強風の際は、活動の安全上、キャンプファイヤーのお断りする場合があります。</p> <p>⑤当日の火の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 当日に行っていただく火の処理も含め、20時30分までにプログラムを終了する <input type="checkbox"/> ファイヤー終了後は、燃えている薪や炭をファイヤーサークルの中央にまとめ、写真の様にドラム缶を被せて一晩燃やす。  ファイヤーサークルのレンガが割れることを防ぐため、消火のために水はかけない <input type="checkbox"/> 物品の片づけと返却 <ul style="list-style-type: none"> ・灯油：ふれあいの村管理棟事務所に返却 ・余った薪：薪倉庫前にまとめて置く ・バタ薪のタガ・トーチ棒の針金：炊事場タガ掛け <p>⑥翌朝の片づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 燃え尽きて残った灰と炭をほうきとちりとりで集め、炊事場横にあるドラム缶に捨てる 	<p>⇒薪組み指導が必要な場合は薪組みを行う時間を決める ※16時30分までの計画をお願いします。</p> <p>⇒薪組み指導と説明を行う際は事前に担当者を決めておき、担当者含め大人の方2～3名に手伝ってもらいます（新聞紙持参）</p> <p>⇒灯油・トーチ棒の受け取りは、引率者・指導者の方をお願いしております。 ※受け取り確認が必要なため、子どもみでの受け取りは不可</p> <p>⇒プログラム実施上の留意点 ※ファイヤー薪への点火はトーチ棒、またはファイヤー薪へ直接点火する方法のみとする ※火に子どもが近づきすぎないように安全管理を徹底する ※薪の継ぎ足しは火バサミ・皮手袋などを使い、大人が行うようにする ※炊事の際に余ったバタ薪を使用して頂くこともできるが、火の大きさを制限するため、バタ薪一束分までの量とする</p>
<p>その他</p>	<p>薪組みについて：利用者の皆さんで薪組みを行っていただいてもかまいません。なお、その際は事前にふれあいの村スタッフより火の処理や後片付けに関する説明をさせていただきます。</p>	

ナイトプログラム「キャンプファイヤー」

参考 キャンプファイヤー薪の組み方

- 1) ファイヤー用太薪2本を1段分とし、井桁状に組んでいく
 - ・1段分で使う2本の太さや大きさをそろえるとよい
 - ・出来上がりの見栄えを良くするためには、一番下の段に設置する薪の間隔を広く、上に重ねるごとに間隔を狭めていくとよい



- 2) 下から1段目・2段目を組んだら、井桁の中央に点火用新聞紙や薪を置くための「土台」を準備する



○平らなバタ薪を「ハ」の字の形になるように立てかける



○「ハ」の字の形に置いたバタ薪の、さらにその上に薪を平らになるように敷き詰める

- 3) 「土台」を完成させたら、残りの薪を組み上げる



- 4) 「土台」の上に、紙皿状にした新聞紙を置き、その新聞紙が底面となるような形でバタ薪を円錐（えんすい）状に組んでいく。



○バタ薪を円錐状に組んでいく際は、バタ薪の中でも細いものから順番に組んでいくとよい



○バタ薪を組む際に、新聞紙を軽くねじったものを2本ほど用意し、点火時の導火線となるように薪の中央部分に向かってねじ込む



○バタ薪を組み上げた際に、細い薪を中央の新聞紙部分に向かって1本だけ突き刺す。
(灯油を注ぎ込むために使用)

- 5) 残った薪を、ファイヤーサークルのまわりに並べて完成。

- ・キャンプファイヤー中は、外に並べたバタ薪を適宜加える
- ・キャンプファイヤー中、参加者にはバタ薪より内側には入らないように伝える

